

～重い障害のある方の地域生活を豊かにするために～ 重症心身障害児者のコミュニケーション支援研修

■趣 旨■

表出が微弱で少ない重症心身障害児者は、日常的に受け身になりがちです。そのため、コミュニケーションを取ろうとする支援者側が障害の特性を学び、感度を上げる必要があります。また、障害のある方の主体性を大切にする、意思決定を支援することなどは、障害者総合支援法をはじめとして法律で述べられています。この意思決定支援の基礎にあるのは、コミュニケーション支援です。本研修会では、コミュニケーションを行う上での配慮や様々なコミュニケーション支援の方法について、演習等を通じて考えてみたいと思います。

I. 日 時: 2016年4月10日(日)
10時～15時30分(受付開始 9時30分)

II. 会 場: 沖縄県立南部医療センター
・こども医療センター 2階講堂

III. 講 師: 下川 和洋
・特定非営利活動法人地域ケアさぼーと研究所 理事
・女子栄養大学非常勤講師

IV. 対象者: 重症心身障害児者を支援している方々
(医療関係者、学校関係者、療育関係者)

V. 参加費: 資料代 3,000円

VI. 申込方法: 要事前申込み(先着順) 定員 50名
(裏面をご記入いただきFAX送信下さい)

♡♡♡♡ プログラム ♡♡♡♡

10:00 開会のご挨拶 一般社団法人Kukuru
代表理事 鈴木 恵

10:10 第一部 講演&演習

『支援者の感度アップがコミュニケーションを豊かにする』

参加者が二人一組になって、聞く・見る・触れる・表現する演習を通じてコミュニケーションの発達や支援方法、配慮点などを学びます。また、透明文字盤等を使ったやりとりなども行います。

12:30 ~~~ 昼食休憩 ~~~ (昼食は各自でご用意下さい)

13:30 第二部 講義 『コミュニケーション支援の実践事例』

生活の中でのコミュニケーション方法、コミュニケーション意欲を高めるための工夫、コミュニケーション機器を用いた活動など具体的な実践事例を紹介します。

14:15 第三部 演習 『支援機器の体験』

全体説明(14:15～14:30)のあと、①～④の機器等を体験していただきます。

- ① 視線入力意思伝達装置「マイビー」でゲームをしよう!
- ② 意思伝達装置「レッツチャット」(+ピエゾニューマティックセンサースイッチ)で文章を作ろう!
- ③ スイッチを使った玩具で遊ぼう!
- ④ iPad又は、iPhoneを使ってコミュニケーション教材を作ろう!
iPad又は、iPhone(iOS7以上)をお持ちの方は、アプリBitsBoard(無料版)をインストールして各自お持ち下さい。
iOS7以上に備わっているスイッチコントロールの機能を使った教材と一緒に作ります。iPad等をお持ちでない方は、持参された方と一緒に協力して作成していただきます。

15:30 まとめ・事務連絡・閉会

♡♡♡♡ お疲れ様でした ♡♡♡♡

お申し込みご希望の場合は、裏面をご利用下さい。

主催(問い合わせ先):一般社団法人Kukuru
TEL:098-859-8768/FAX:098-859-8769
E-MAIL:info@kukuruokinawa.com



視力入力意思伝達装置
『マイビー』



意思伝達装置「レッツチャット」

宛 先 : 一般社団法人 Kukurū (くくる) 宛

F A X : 098-859-8769

※この用紙をご記入の上、上記F A X番号に平成28年4月5日(火)までに送信をお願いします。

重症心身障害児者のコミュニケーション支援研修

*** 参加申込書 ***

◆日 時 : 平成28年4月10日(日) 10:00 ~ 15:30 (受付: 9:30~)

◆会 場 : 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 2階講堂

所属事業所名	担当課名	担当者名
電子メールアドレス (パソコンメールが受信できるアドレス)	電話番号	F A X 番号

参加者氏名		職 種	連絡先
1	(ふりがな)		
2	(ふりがな)		
3	(ふりがな)		
4	(ふりがな)		
5	(ふりがな)		

※当日、下川先生に質問又は、相談したい事があれば下記にご記入下さい。

~~~ お申し込みありがとうございました。 ~~~